

財務会計システム

勘定奉行V ERP10

機能アップガイド

債務管理 Pro オプション

債務管理オプション [多通貨対応版]

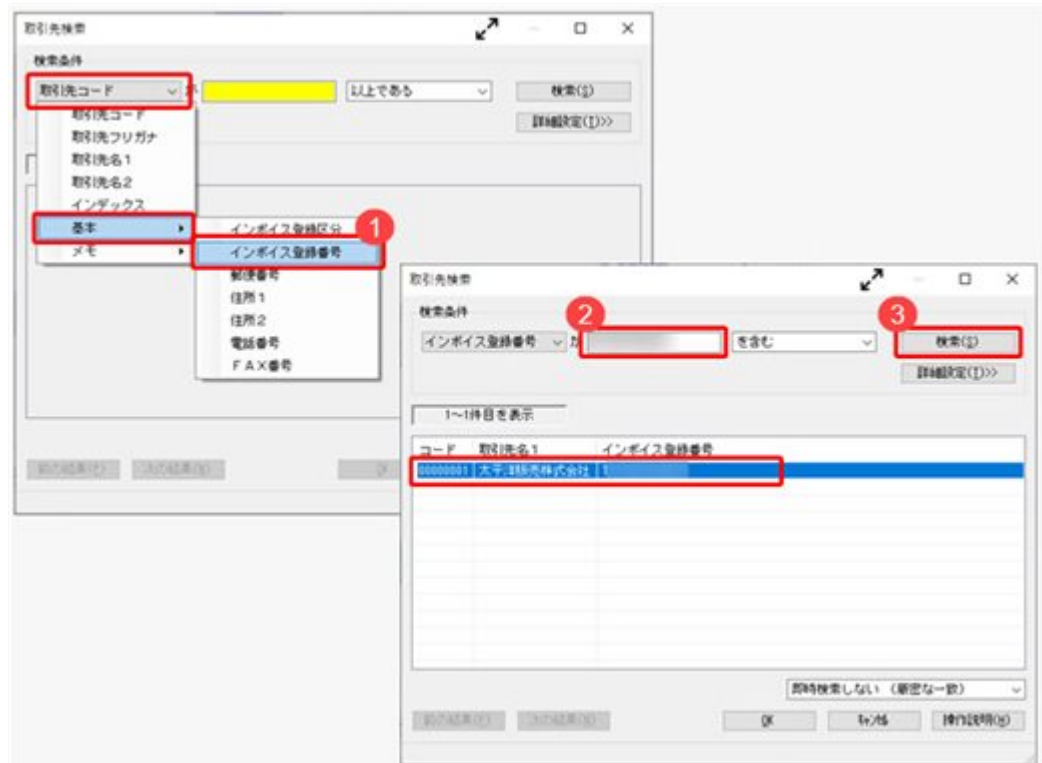
債務管理オプション

< Ver.3.62 >

改正情報

- 令和5年10月1日施行のインボイス制度に関連して追加対応をしました。

[取引先検索]画面で、取引先マスターをインボイス登録番号で絞り込めるようになりました。



《 関連メニュー 》

[導入処理]-[取引先登録]-[取引先登録]メニューなど、取引先を検索できるすべてのメニュー

債務管理

- アップロードできる証憑の上限ファイルサイズを10MBから20MBに変更しました。
＜『証憑保管オプション for 奉行シリーズ』をお使いの場合＞

《 関連メニュー 》

[債務管理]-[購入債務処理]-[債務伝票入力]メニュー

財務会計システム

勘定奉行V ERP10

機能アップガイド

債務管理 Pro オプション

債務管理オプション [多通貨対応版]

債務管理オプション

< Ver.3.61 ~ Ver.3.58 >

● 令和5年10月1日施行のインボイス制度に追加対応しました。

インボイス制度対応において、8月に提供を予定していた項目に対応します。

- ・ 国税庁「適格請求書発行事業者公表サイト」の番号を確認する
- ・ 「中小事業者」のインボイス保存が不要な少額取引の経過措置に対応する

上記以外の対応内容や詳細は、「インボイス制度運用ガイド」をご参照ください。

「当システムでできること」の「8月提供」で確認できます。

※「インボイス制度運用ガイド」は、セットアップ後に[債権債務管理]-[ヘルプ]-[機能追加／改正情報]メニューで確認できます。

財務会計システム

勘定奉行V ERP10

機能アップガイド

債務管理 Pro オプション

債務管理オプション [多通貨対応版]

債務管理オプション

< Ver.3.57 / Ver.3.56 >

- 令和5年10月1日施行のインボイス制度に対応しました。

対応項目は、「インボイス制度運用ガイド」の「当システムの対応ポイント」
をご参照ください。

※「インボイス制度運用ガイド」は、セットアップ後に[債権債務管理]-[ヘルプ]-[機能追加／改正情報]メニューで確認できます。

財務会計システム

勘定奉行V ERP10

機能アップガイド

債務管理 Pro オプション

債務管理オプション [多通貨対応版]

債務管理オプション

< Ver.3.55 / Ver.3.54 >

改正情報

- 令和4年1月施行「改正電子帳簿保存法」に対応しました。

○帳簿の電磁的記録

当システムを利用するだけで、支払先元帳（帳簿）を「紙」で保管する代わりに『勘定奉行』のデータ（電磁的記録）で保存できます。

今回整備された「緩和された要件を満たす電子帳簿（その他の電子帳簿）」の法的要件に対応しています。

＜『債務管理Proオプション』または『債務管理オプション[多通貨対応版]』をお使いの場合＞

○書類の電磁的記録

当システムを利用するだけで、発行した支払明細書の控えを「紙」で保管する代わりに『勘定奉行』のデータ（電磁的記録）で保存できます。

＜『証憑保管 for 奉行シリーズ』をお使いの場合＞

○スキャナ保存

「紙」で受領した証憑を保管する代わりに、スキャンした証憑ファイルを取り込み、債務伝票と紐付けて保存できます。

添付した請求書・納品書・見積書は、『勘定奉行』への仕訳伝票作成時にあわせて連携され、『勘定奉行』の制度要件のもとで保管されます。

○電子取引データの保存

電子取引データ（電子請求書や電子納品書など）を、債務伝票と紐付けて保存できます。

[債務管理]-[購入債務処理]-[債務伝票承認]メニューで債務伝票に「最終承認」を付与した際（債務伝票承認を使用しない場合は、債務伝票登録時）に、自動的にタイムスタンプが付与されるため、煩雑な「事務処理規程」は不要となり、負担なく運用できます。

添付した請求書・納品書・見積書は、『勘定奉行』への仕訳伝票作成時にあわせて連携され、『勘定奉行』の制度要件のもとで保管されます。

参 考

当システムにおける電子帳簿保存・証憑スキャナ保存の対応に関しては、ヘルプの「電子帳簿保存法における当システムの対応」をご参照ください。

管理帳票

- 支払通知書の内容をファイルに転送できるようになりました。

[債務管理]-[管理帳票]-[支払通知書]メニューで、支払通知書の内容をファイルに転送できます。

転送する場合は、[印刷等条件設定]画面で[転送...] ボタンをクリックします。

財務会計システム

勘定奉行V ERP10

機能アップガイド

債務管理 Pro オプション

債務管理オプション [多通貨対応版]

債務管理オプション

< Ver.3.53 / Ver.3.52 / Ver.3.51 >

【債務管理】	
仕訳伝票から債務伝票にジャンプして内容を確認できるようになりました。	2

債務管理

- 仕訳伝票から債務伝票にジャンプして内容を確認できるようになりました。

[債務管理]-[購入債務処理]-[債務伝票入力]メニューなどで登録した債務伝票から自動作成された仕訳伝票（メインメニューの[仕訳処理]-[仕訳処理]メニュー）で、もともっている債務伝票にジャンプして内容を確認できます。

The screenshot shows the '仕訳処理' (Journal Entry Processing) window. At the top, there's a header with 'OBC商事株式会社' and '会計期間: 2018年 4月 1日 ~ 2018年 3月 31日'. Below this, there's a section for '伝票日付' (Invoice Date) set to '18年 12月 10日' and '伝票No.' (Invoice No.) set to '000002'. A '債務伝票' (Debt Slip) link is visible in the top right corner. The main table displays a transaction with the following details:

行	部 門 / 勘定科目 / 補助科目	金 額	部 門 / 勘定科目 / 補助科目	金 額	備 考
1	001 第一営業部 604 仕入高	100,000 (9,080)	001 第一営業部 905 買掛金	100,000	
	00000112 八王子通信株式会社		00000112 八王子通信株式会社		

Below the table, there's a summary section with '借方合計' (Debit Total) of 100,000 and '貸方合計' (Credit Total) of 100,000. A red box highlights a message: 「債権債務管理オプション」のリンクをクリックすると、ジャンプできます。 (Clicking the link for '債権債務管理オプション' allows jumping). A red arrow points from this message to a button labeled '債権債務管理オプション'.

At the bottom, there's a row of function keys: F1 (操作説明), F2 (伝票発行), F3 (付箋), F4 (前伝票), F5 (次伝票), F6 (複写), F7 (削除), F8 (反対仕訳), F9 (修正), F10 (中止), and F12 (閉じる). A note at the bottom states: 切替 ←ここをクリック、または[Ctrl]キーを押すと、Windowsファンクションの表示が切り替わります。

債務伝票にリンクされている証憑ファイルを確認する場合などに便利です。

財務会計システム

勘定奉行V ERP10

機能アップガイド

債務管理 Pro オプション

債務管理オプション [多通貨対応版]

債務管理オプション

< Ver.3.31 / Ver.3.30 >

目次

【債務管理】	
支払明細書で、「非課税等対象額」の印字や、鑑への税率ごとの消費税額の印字ができるようになりました。 ＜『債務管理Proオプション』をお使いの場合＞ ＜『債務管理オプション[多通貨対応版]』をお使いの場合＞	2
支払明細書発行の一覧確認画面・支払一覧表に、税率ごとの「税抜仕入額」と「消費税額等」を出力できるようになりました。 ＜『債務管理Proオプション』をお使いの場合＞ ＜『債務管理オプション[多通貨対応版]』をお使いの場合＞	2
前払消込・個別支払消込・相殺消込時に、債務伝票の「購入金額」や「税率」などを出力できるようになりました。	3
支払先元帳の債務明細に、相手明細の金額や税率などを表示できるようになりました。	4
支払先元帳で、各計行に「税抜金額・消費税」「税率ごとの計行」を出力できるようになりました。	4
支払通知書の明細金額として、購入金額も出力できるようになりました。	5
伝票履歴メニューで、債務伝票の「購入金額」や「税率」などを出力できるようになりました。	5

- 支払明細書で、「非課税等対象額」の印字や、鑑への税率ごとの消費税額の印字ができるようになりました。

＜『債務管理Proオプション』または『債務管理オプション[多通貨対応版]』をお使いの場合＞

明細支払明細書・伝票支払明細書に、【仕入合計】の内訳として、「非課税等対象額」を印字できるようになりました。

また、税率ごとの消費税額を鑑に印字できるようにもなりました。

印字する場合は、[条件設定]画面の[出力設定]ページで[出力項目...] ボタンをクリックし、[明細支払明細書・伝票支払明細書]ページで、以下のように設定します。

○非課税等対象額を印字する場合は、「非課税等対象額」で「印字する」を選択します。

○税率ごとの消費税額を鑑に印字する場合は、「税率ごとの消費税額（鑑）」で「印字する」を選択します。

※この機能追加に伴い、[明細支払明細書・伝票支払明細書]ページの「税率ごとの消費税額」は「税率ごとの消費税額（明細）」に名称が変更されました。

＜ 関連メニュー ＞

- ・[債務管理]-[支払締処理]-[支払明細書発行]メニュー
- ・[債務管理]-[支払締処理]-[支払明細書再発行]メニュー

- 支払明細書発行の一覧確認画面・支払一覧表に、税率ごとの「税抜仕入額」と「消費税額等」を出力できるようになりました。

＜『債務管理Proオプション』または『債務管理オプション[多通貨対応版]』をお使いの場合＞

[債務管理]-[支払締処理]-[支払明細書発行]メニューの一覧確認画面と[債務管理]-[支払締処理]-[支払一覧表]メニューに、「税抜仕入額」や「消費税額等」の税率ごとの項目を印字できるようになりました。

○[債務管理]-[支払締処理]-[支払明細書発行]メニューの場合は、[支払明細書発行 - 条件設定]の[出力設定]ページに追加された出力項目設定で設定します。

※この機能追加に伴い、[出力設定]ページに出力項目設定が追加され、一覧確認画面に表示するその他の項目についても、出力の有無や並び順を設定できるようになりました。

○[債務管理]-[支払締処理]-[支払一覧表]メニューの場合は、[支払一覧表 - 条件設定]画面の[出力設定]ページの出力項目設定で設定します。

※Ver. 3.29以前のバージョンで支払明細書発行済みの履歴は、今回追加された項目は空欄で出力されます。

税率ごとの金額を出力する場合は、[債務管理]-[支払締処理]-[支払締取消]メニューで支払締を取り消し、[債務管理]-[支払締処理]-[支払明細書発行]メニューで支払明細書を発行しなおします。

《 関連メニュー 》

- ・ [債務管理]-[支払締処理]-[支払明細書発行]メニュー
- ・ [債務管理]-[支払締処理]-[支払一覧表]メニュー

- 前払消込・個別支払消込・相殺消込時に、債務伝票の「購入金額」や「税率」などを出力できるようになりました。

○ [債務管理]-[支払処理]-[前払金消込]メニュー、[債務管理]-[支払処理]-[個別支払消込]メニュー、[債務管理]-[支払処理]-[支払消込修正]メニューで、債務伝票の以下の項目を出力できるようになりました。

税処理／税率／購入金額／消費税金額／購入金額（国内）／消費税金額（国内）
出力する場合は、[条件設定]画面の[項目選択]ページで債務伝票の出力項目を設定します。

これに伴い、以下のこともできるようになりました。

- ・ [債務管理]-[支払処理]-[前払金消込]メニューと[債務管理]-[支払処理]-[個別支払消込]メニューでは、[項目選択]ページで設定できる債務伝票の出力項目の数が増え、最大4個から最大8個になりました。
- ・ [債務管理]-[支払処理]-[個別支払消込]メニューでは、設定した出力項目は、印刷・転送時にも出力されます。
転送時は、[個別支払消込 - 転送条件設定]画面の[詳細設定]ページで「税率種別を出力する」にチェックを付けると、税率種別も出力できます。

※「購入金額（国内）」「消費税金額（国内）」は、『債務管理オプション[多通貨対応版]』をお使いの場合に出力できます。

○ [債権管理]-[相殺処理]-[相殺消込]メニューで、債権伝票と債務伝票の以下の項目を表示できるようになりました。

- ・ 債権伝票
税処理／税率／売上金額／消費税金額
- ・ 債務伝票
税処理／税率／購入金額／消費税金額

出力する場合は、[相殺消込 - 条件設定]画面の[項目選択2]ページで設定します。

《 関連メニュー 》

- ・ [債務管理]-[支払処理]-[前払金消込]メニュー
- ・ [債務管理]-[支払処理]-[個別支払消込]メニュー
- ・ [債務管理]-[支払処理]-[支払消込修正]メニュー
- ・ [債権管理]-[相殺処理]-[相殺消込]メニュー

- **支払先元帳の債務明細に、相手明細の金額や税率などを表示できるようになりました。**

[債務管理]-[管理帳票]-[支払先元帳]メニューで、債務明細に、相手明細の以下の項目を表示できます。

部門／勘定科目／補助科目／セグメント１・２／プロジェクト・サブプロジェクト／
税込金額／消費税／税処理／税率／税区分

また、値引の支払明細に税率を表示することもできます。

表示する場合は、[支払先元帳 - 条件設定]画面の[表示設定]ページの「仕入情報表示」を「する」にします。

※セグメント１・セグメント２は、『伝票項目拡張オプション』をお使いの場合に使用できるマスターです。

※プロジェクト・サブプロジェクトは、『勘定奉行[個別原価管理編]』をお使いの場合に使用できるマスターです。

◀ 関連メニュー ▶

・ [債務管理]-[管理帳票]-[支払先元帳]メニュー

- **支払先元帳で、各計行に「税抜金額・消費税」「税率ごとの計行」を出力できるようになりました。**

[債務管理]-[管理帳票]-[支払先元帳]メニューの各計行（伝票合計・月計・取引先グループ計・最後の合計）に、「税抜金額・消費税」「税率ごとの計行」を出力できるようになりました。

出力する場合は、[支払先元帳 - 条件設定]画面の[表示設定]ページで設定します。

※この機能追加に伴い、[表示設定]ページの「伝票計行表示」「月計行表示」「取引先グループ計表示」「最後の合計行表示」は、各計行の設定の「計行」へと名称が変更されました。

また、転送時に[支払先元帳 - 転送条件設定]画面の[詳細設定]ページで「税率種別を出力する」にチェックを付けると、税率種別も出力できます。

◀ 関連メニュー ▶

・ [債務管理]-[管理帳票]-[支払先元帳]メニュー

● **支払通知書の明細金額として、購入金額も出力できるようになりました。**

いままでは、支払通知書の明細金額では、支払金額だけしか出力できませんでした。
これからは、「購入金額」、「支払金額」、「購入金額・支払金額」の3つのパターンで出力できるようになりました。

[支払通知書 - 印刷条件設定]画面の[出力設定2]ページの「明細出力」で設定します。

これに伴い、以下のこともできるようになりました。

- ・「購入金額・支払金額」を出力する場合に、明細の並び順でどちらの金額順を優先するかを設定できます。

[出力設定2]ページの「明細金額の出力順」で設定します。

- ・購入金額の税率・税処理も出力できます。

[出力設定2]ページの「税率を出力する」「税処理を出力する」で設定します。

《 関連メニュー 》

- ・[債務管理]-[管理帳票]-[支払通知書]メニュー

● **伝票履歴メニューで、債務伝票の「購入金額」や「税率」などを出力できるようになりました。**

[債務管理]-[履歴管理]-[債務伝票履歴]メニューや[債務管理]-[履歴管理]-[支払伝票履歴]メニューで、債務伝票の以下の項目を出力できるようになりました。

税処理／税率／購入金額／消費税金額／購入金額（国内）／消費税金額（国内）
出力する場合は、[条件設定]画面の[項目選択]ページで債務伝票の出力項目を設定します。

また、転送時に[転送条件設定]画面の[詳細設定]ページで「税率種別を出力する」にチェックを付けると、税率種別も出力できます。

※「購入金額（国内）」「消費税金額（国内）」は、『債務管理オプション[多通貨対応版]』をお使いの場合に出力できます。

《 関連メニュー 》

- ・[債務管理]-[履歴管理]-[債務伝票履歴]メニュー
- ・[債務管理]-[履歴管理]-[支払伝票履歴]メニュー

財務会計システム

勘定奉行V ERP10

機能アップガイド

債務管理 Pro オプション

債務管理オプション [多通貨対応版]

債務管理オプション

< Ver.3.29 / Ver.3.28 >

【改正情報】	
新元号(改元)に対応しました。	2

● 新元号(改元)に対応しました。

改元日2019年5月1日以後の日付から、新元号の日付に切り替わります。

○日付の入力では、暦表示が和暦の場合に、入力月にしたがって元号の表示が切り替わります。

※4月までは「平成」に、5月からは新元号の表示に切り替わります。

平成 31年5月 → 新元号 1年5月

新元号 1年4月 → 平成 31年4月

○画面表示や印刷、転送・汎用データ作成では、暦表示が和暦の場合に改元日以後は新元号で出力されます。

○汎用データ受入では、「日付」項目の書式が和暦形式の場合に、改元日以後は新元号の日付で受け入れできます。

※なお、改元日以後に「平成」の日付のままでも受け入れできます。

例)「平成31年5月」は「新元号1年5月(2019年5月)」として受入

財務会計システム

勘定奉行V ERP10

機能アップガイド

債務管理 Pro オプション

債務管理オプション [多通貨対応版]

債務管理オプション

< Ver.3.27 >

【改正情報】	
消費税10%への対応	2
軽減税率制度への対応	2
区分記載請求書等保存方式への対応 <div> <div></div> <div>＜『債務管理Proオプション』をお使いの場合＞</div> </div>	2
汎用データ受入の対応	2
【債務管理】	
債務伝票の仕訳伝票を部門ごとに集約して作成する場合に、並び順に部門コード順が加味されるようになりました。	3

● 消費税10%への対応

○取引日付にもとづいた税率の自動判定

取引の日付にあわせて税率を自動判定し、税率改定後もミスなくスムーズに入力できます。

○旧税率8%（取引先に合わせる場合や経過措置の取引）の計上

前回の8%への改定と同様に、今回も経過措置が設けられています。
伝票起票時に税率を8%に変更できます。

○アラート機能により入力ミスを未然に防止

施行日をまたいで伝票を複写・修正した場合に、確認メッセージが表示され、適切な税率を適用できます。

● 軽減税率制度への対応

勘定科目・補助科目の税率種別をもとに税率を初期表示します。

軽減税率用の債務区分を登録することで、債務伝票では債務区分を選択するだけで、軽減税率の取引を迷わず起票できます。

※軽減税率の対象となる品目は、国税庁のホームページを参照

● 区分記載請求書等保存方式への対応

<『債務管理Proオプション』をお使いの場合>

軽減税率の実施に伴い、税率ごとの区分を記載した請求書等（区分記載請求書等）の発行が必要になります。

支払明細書で、以下の内容が出力できます。

- ・軽減税率の対象の商品明細に軽減フラグ（「軽」）
- ・税率ごとに区分した税抜価額の合計額および消費税額等

● 汎用データ受入の対応

○新税率10%に対応

○軽減税率品目の取引用に、受入項目「税率種別」を追加

「消費税10%・軽減税率対応 運用ガイド」に、運用に関する一連の操作手順をまとめています。

最初に目次を参照して、必要な箇所をご確認ください。

※「消費税10%・軽減税率対応 運用ガイド」は、『操作説明（ヘルプ）』の「機能追加／改正情報」から参照できます。

債務管理

- 債務伝票の仕訳伝票を部門ごとに集約して作成する場合に、並び順に部門コード順が加味されるようになりました。

[債務管理]-[購入債務処理]-[債務伝票承認]メニューで債務伝票を承認し、部門ごとに集約して仕訳伝票を作成する場合に、作成される仕訳伝票の並び順に部門コードが加味されるようになりました。

▼例

[債権債務機能設定]メニューの[債務管理]-[仕訳伝票作成設定]ページが以下の場合

作成単位 1：日付単位

部門別の集約 1：する

仕訳伝票は、以下の並び順で作成されます。

変更前	変更後
伝票日付順→登録順	伝票日付順→ 部門コード順 →登録順

財務会計システム

勘定奉行V ERP10

機能アップガイド

債務管理 Pro オプション

債務管理オプション [多通貨対応版]

債務管理オプション

< Ver.3.23 / Ver.3.22 >

【全般】	
源泉計算の明細に、細目 1、細目 2 が入力できるようになりました。	2
【導入処理】	
[取引先登録]メニューで、振込先名カナに入力を許可する半角文字を任意に指定できるようになりました。	3

● 源泉計算の明細に、細目 1、細目 2 が入力できるようになりました。

○ [導入処理]-[取引先登録]-[取引先登録]メニュー

[支払先源泉]ページで、初期値として表示する細目 1、細目 2 を登録できるようになりました。

○ [債務管理]-[支払処理]-[支払伝票承認]メニュー

＜計算方法が「0：支払時に計算」の場合＞


源泉計算の明細に、細目 1、細目 2 が入力できるようになりました。

入力する場合は、[支払伝票承認 - 条件設定]画面の[項目選択]ページで「細目 1」「細目 2」を選択済項目に設定します。

○ [債務管理]-[購入債務処理]-[債務伝票入力]メニュー

＜計算方法が「1：購入時に計算」の場合＞

源泉計算の明細に、細目 1、細目 2 が入力できるようになりました。

入力する場合は、源泉欄にカーソルがある状態で  を押します。

○ [債務管理]-[購入債務処理]-[債務データ抽出]メニュー

＜計算方法が「1：購入時に計算」の場合＞

源泉計算の明細に、細目 1、細目 2 が入力できるようになりました。

入力する場合は、[債務データ抽出 - 条件設定]画面の[項目選択]ページで「細目 1」「細目 2」を選択済項目に設定します。

○ [随時処理]-[法定調書奉行連動]-[報酬等明細データ作成]メニュー

細目 1、細目 2 を含めて作成できるようになりました。

含めて作成するには、[報酬等明細データ作成 - 出力条件設定]画面の[項目選択]ページで「細目 1」「細目 2」を選択済項目に設定します。

◀ 関連メニュー ▶

- ・ [導入処理]-[取引先登録]-[取引先登録]メニュー
- ・ [導入処理]-[取引先登録]-[取引先一括登録]メニュー
- ・ [随時処理]-[汎用データ作成]-[マスターデータ作成]-[取引先データ作成]-[取引先データ作成]メニュー
- ・ [随時処理]-[汎用データ受入]-[マスターデータ受入]-[取引先データ受入]-[取引先データ受入]メニュー
- ・ [自動実行管理]-[汎用データ作成]-[自動実行取引先データ作成]メニュー（『自動実行管理オプション』をお使いの場合）
- ・ [自動実行管理]-[汎用データ受入]-[自動実行取引先データ受入（債権債務）]メニュー（『自動実行管理オプション』をお使いの場合）
- ・ [債務管理]-[支払処理]-[支払伝票承認]メニュー
- ・ [債務管理]-[履歴管理]-[債務伝票履歴]メニュー
- ・ [債務管理]-[履歴管理]-[支払伝票履歴]メニュー
- ・ [随時処理]-[法定調書奉行連動]-[報酬等明細データ作成]メニュー

＜計算方法が「0：支払時に計算」の場合＞

- ・[随時処理]-[データ一括削除]-[債務データ一括削除]-[支払伝票データ一括削除]メニュー

＜計算方法が「1：購入時に計算」の場合＞

- ・[債務管理]-[購入債務処理]-[債務伝票入力]メニュー
- ・[債務管理]-[購入債務処理]-[債務伝票承認]メニュー
- ・[随時処理]-[汎用データ作成]-[債務データ作成]-[債務伝票データ作成]メニュー
- ・[随時処理]-[汎用データ受入]-[債務データ受入]-[債務伝票データ受入]メニュー
- ・[自動実行管理]-[汎用データ作成]-[自動実行債務伝票データ作成]メニュー（『自動実行管理オプション』をお使いの場合）
- ・[自動実行管理]-[汎用データ受入]-[自動実行債務伝票データ受入]メニュー（『自動実行管理オプション』をお使いの場合）
- ・[随時処理]-[データ一括削除]-[債務データ一括削除]-[債務伝票データ一括削除]メニュー
- ・[債務管理]-[購入債務処理]-[債務データ抽出]メニュー
- ・[債務管理]-[支払処理]-[一括支払消込]メニュー
- ・[債務管理]-[支払処理]-[個別支払消込]メニュー
- ・[債務管理]-[支払処理]-[前払金消込]メニュー

導入処理

- [取引先登録]メニューで、振込先名カナに入力を許可する半角文字を任意に指定できるようになりました。

今まで制御できなかった、「%」「@」などの文字も制御できるようになりました。

制御する場合は、[取引先登録 - 設定]画面の[カナ設定]ページで、設定方法を「編集する」に設定し、「入力を許可する半角文字」を編集します。

《 関連メニュー 》

- ・[導入処理]-[取引先登録]-[取引先登録]メニュー
- ・[導入処理]-[取引先登録]-[取引先一括登録]メニュー
- ・[随時処理]-[汎用データ受入]-[マスターデータ受入]-[取引先データ受入]-[取引先データ受入]メニュー
- ・[自動実行管理]-[汎用データ受入]-[自動実行取引先データ受入（債権債務）]メニュー（『自動実行管理オプション』をお使いの場合）

財務会計システム

勘定奉行V ERP10

機能アップガイド

債務管理 Pro / 債務管理オプション

＜ Ver.3.20 / Ver.3.13 / Ver.3.12 ＞

【全般】	
支払明細書の支払額について、前払金を消込基準で集計できるようになりました。 ＜『債務管理Proオプション』をお使いの場合＞	2
【債務管理】	
[債務データ抽出]メニューで、源泉計算対象の支払先の明細に初期値でチェックが付けられるようになりました。	2
[支払予定変更]メニューで、部門など、伝票明細の項目で債務伝票を検索できるようになりました。	2
仕訳伝票の伝票No.を手入力で付番している場合に、支払手形、ファクタリング債務、電子記録債務の伝票No.だけを変更できるようになりました。	3

- 支払明細書の支払額について、前払金を消込基準で集計できるようになりました。

＜『債務管理Proオプション』をお使いの場合＞

いままでは、前払金は前払金情報をもとに集計されていましたが、これからは、前払金消込をした内容をもとに集計できるようになりました。

これにより、支払明細書を支払先単位で発行している取引先グループで、支払いは取引先グループでまとめて支払う場合でも、各支払先の支払明細書に前払金の支払いを計上できるようになります。

※前払金額の集計基準（[導入処理]-[運用設定]-[債権債務運用設定]メニューの[請求支払設定]ページで設定）で「1：消込基準」を選択すると、前払金消込をした内容をもとに集計できます。

＜ 関連メニュー ＞

- ・ [導入処理]-[運用設定]-[債権債務運用設定]メニュー
- ・ [債務管理]-[支払締処理]-[支払明細書発行]メニュー
- ・ [随時処理]-[商蔵奉行連動]-[債権債務管理]-[支払伝票データ作成]メニュー

債務管理

- [債務データ抽出]メニューで、源泉計算対象の支払先の明細に初期値でチェックが付けられるようになりました。

源泉区分（[導入処理]-[取引先登録]-[取引先登録]メニューの[支払先源泉]ページで設定）が「1：対象」の支払先について、自動的に源泉欄にチェックを付けられるようになりました。

※[債務データ抽出 - 設定]画面の[運用設定]ページの「初期源泉区分」で設定できます。

- [支払予定変更]メニューで、部門など、伝票明細の項目で債務伝票を検索できるようになりました。

表示単位（[支払予定変更 - 条件設定]画面の[基本条件]ページで設定）を「債務伝票」にして支払予定を変更する場合に、部門などの伝票明細の項目を指定して変更対象の債務伝票を検索できるようになりました。

※伝票明細の検索条件は、[支払予定変更 - 条件設定]画面の[詳細条件2]ページで設定できます。

※この変更に伴い、いままでのページ名が以下のとおり変更されました。

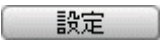
- ・ [基本設定]ページ→[基本条件]ページ
- ・ [詳細設定]ページ→[詳細条件]ページ

※『債務管理Proオプション』をお使いの場合は、支払予定確定基準（[導入処理]-[運用設定]-[債権債務運用設定]メニューの[請求支払設定]ページで設定）が「1：伝票単位」の場合の機能追加です。

- **仕訳伝票の伝票No.を手入力で付番している場合に、支払手形、ファクタリング債務、電子記録債務の伝票No.だけを変更できるようになりました。**

仕訳伝票の伝票No.の付番方法（メインメニューの[導入処理]-[会計期間設定]-[会計期間設定]メニューの[伝票設定]ページで設定）が「2：手入力」の場合に、いままでは、仕訳伝票に反映する項目を変更した時だけ[仕訳伝票No.入力]画面が表示されて、伝票No.を再付番することができました。

これからは、修正登録時に[仕訳伝票No.入力]画面を表示するかどうかを設定できるようになり、[仕訳伝票No.入力]画面を表示する場合は、伝票No.だけを変更できるようになりました。

※[仕訳伝票No.入力]画面を表示するかどうかは、（[F3]キー）を押して表示される[設定]画面の「修正登録時の仕訳伝票No.入力の表示」で設定できます。

《 関連メニュー 》

- ・ [債務管理]-[支払手形処理]-[支払手形入力]メニュー
- ・ [債務管理]-[ファクタリング処理]-[ファクタリング債務入力]メニュー
- ・ [債務管理]-[電子記録債務処理]-[電子記録債務入力]メニュー

財務会計システム

勘定奉行V ERP10

機能アップガイド

債務管理 Pro / 債務管理オプション

< Ver.3.08 >

【全般】	
[支払方法登録]メニューで、セグメントやプロジェクト、工事などのマスターを設定できるようになりました。	2
伝票リストに振込先銀行を印刷する際に、手数料負担や基本振込区分も出力されるようになりました。	2
完成工事・完成プロジェクトを入力した場合に、確認のメッセージを表示するようになりました。	2
【導入処理】	
[債権債務機能設定]メニューの伝票分割時調整科目の設定が廃止されました。	3
【債務管理】	
[債務データ抽出]メニューで、伝票の詳細な並び順指定や金額での検索ができるようになりました。	3
明細支払明細書に調整額の明細を集計できるようになりました。	3
支払手形、ファクタリング債務、期日現金[債務]、電子記録債務から作成するてん末処理仕訳の債務明細を修正できるようになりました。	3
[支払通知書]メニューで、支払金額と振込手数料、郵送料を分けて出力できるようになりました。	4
【随時処理】	
[科目別マスター入力設定]メニューで設定した内容を、汎用データを受け入れるときに反映させるか設定できるようになりました。	4

- [支払方法登録]メニューで、セグメントやプロジェクト、工事などのマスターを設定できるようになりました。

[導入処理]-[決済方法登録]-[支払方法登録]メニューの[基本]ページで、セグメント1・セグメント2・プロジェクト・サブプロジェクト・工事・工種を設定できるようになりました。

いままでは、支払時の仕訳伝票の支払科目に設定される上記マスターは、1行目の相手科目と同じものでした。これからは、[支払方法登録]メニューで設定したマスターが、支払時の仕訳伝票の支払科目に設定されるようになります。

※セグメント1・セグメント2は、『伝票項目拡張オプション』をお使いの場合に使用できるマスターです。

※プロジェクト・サブプロジェクトは、『勘定奉行[個別原価管理編]』をお使いの場合に使用できるマスターです。

※工事・工種は、『勘定奉行[建設業編]』をお使いの場合に使用できるマスターです。

《 関連メニュー 》

- ・[導入処理]-[残高入力]-[前払金残高入力]メニュー
- ・[債務管理]-[支払処理]-[前払金情報登録]メニュー
- ・[債務管理]-[支払処理]-[即時支払伝票入力]メニュー
- ・[債務管理]-[支払手形処理]-[支払手形入力]メニュー
- ・[債務管理]-[ファクタリング処理]-[ファクタリング債務入力]メニュー
- ・[債務管理]-〔電子記録債務処理〕-〔電子記録債務入力〕メニュー

- 伝票リストに振込先銀行を印刷する際に、手数料負担や基本振込区分も出力されるようになりました。

伝票リストに振込先銀行を印刷する際に、振込先初期設定の振込先銀行の情報だけでなく、手数料負担や基本振込区分も出力され、確認できるようになりました。

▼イメージ図

債務残高伝票リスト			
○ 〇 〇 株式会社		Page: 1	
振込区分	伝票項目	金額	振 票
	部門・勘定科目・補助科目		
	[伝票区分] 通常請求 [振込先] 古橋 金子		[支払] 支払済
[支払先] 00000007 東京建設株式会社	[振込日] 2016/6/30		[支払手形] 2016/6/30 振込[三菱東京UFJ 丸の内支店]
[振込先銀行] 0001-810 みずほ銀行 札幌支店	[振込先] 0001-810 みずほ銀行 札幌支店		
0001 営業費[一般]	0001 山下営業		
	011 札幌支店	6,900	
	308 営業費		
【 小 計 】		6,900	
【 合 計 】		6,900	

《 関連メニュー 》

- ・[導入処理]-[残高入力]-[債務残高入力]メニュー
- ・[債務管理]-[購入債務処理]-[債務伝票入力]メニュー
- ※[印刷条件設定]画面の[詳細設定]ページで「振込先銀行を印刷する」にチェックを入れます。
- ・[債務管理]-[支払処理]-[個別支払消込]メニュー
- ※[個別支払消込 - 印刷条件設定]画面の[詳細設定]ページで「振込先銀行」を「1: する」に設定します。

- 完成工事・完成プロジェクトを入力した場合に、確認のメッセージを表示するようになりました。

【完成工事（プロジェクト）入力時のチェック】の仕訳伝票（メインメニューの[導入処理]-[会計期間設定]-[原価管理設定]メニュー[詳細設定]ページで設定）が「1: 確認メッセージを表示する」に設定されている場合に、伝票などに完成工事（プロジェクト）を入力した際に、確認のメッセージを表示します。

※完成工事は、『勘定奉行[建設業編]』をお使いの場合に入力できます。

※完成プロジェクトは、『勘定奉行[個別原価管理編]』をお使いの場合に入力できます。

《 関連メニュー 》

- ・[導入処理]-[残高入力]-[債務残高入力]メニュー
- ・[債務管理]-[購入債務処理]-[債務伝票入力]メニュー
- ・[債務管理]-[購入債務処理]-[債務データ抽出]メニュー
- ・[債務管理]-[支払処理]-[前払金情報登録]メニュー
- ・[債務管理]-[支払処理]-[即時支払伝票入力]メニュー

導入処理

- **【債権債務機能設定】メニューの伝票分割時調整科目の設定が廃止されました。**

伝票承認時に伝票分割時調整科目を使用しなくなったため、[支払科目設定]ページにあった伝票分割時調整科目の設定が廃止されました。

これに伴い、今まで伝票分割時調整科目として使用するために登録していた勘定科目がある場合は、メインメニューの[導入処理]-[科目体系登録]-[勘定科目登録]メニューで削除できるようになりました。

債務管理

- **【債務データ抽出】メニューで、伝票の詳細な並び順指定や金額での検索ができるようになりました。**

[債務管理]-[購入債務処理]-[債務データ抽出]メニューで、[債務データ抽出 - 条件設定]画面の[詳細条件]ページの検索条件に「金額」が追加され、金額で伝票を検索できるようになりました。

また、[債務データ抽出 - 条件設定]画面の[出力順]ページで画面上の仕訳明細の並び順を詳細に指定できるようになりました。

これにより、仕訳伝票リスト（メインメニューの[仕訳処理]-[仕訳伝票リスト]メニュー）と債務データ抽出画面の伝票の並び順を同一にすることができるようになったため、仕訳伝票リストを確認しながら債務データを抽出しやすくなりました。

仕訳伝票リストと同一の並び順で債務データ抽出画面に伝票を表示する詳細な手順は、[債務データ抽出 - 条件設定]画面の[出力順]ページの操作説明をご確認ください。

- **明細支払明細書に調整額の明細を集計できるようになりました。**

[支払明細書発行 - 出力項目]画面の[明細支払明細書]ページで、調整額の明細集計を「する」に設定します。

◀ 関連メニュー ▶

- ・ [債務管理]-[支払締処理]-[支払明細書発行]メニュー
- ・ [債務管理]-[支払締処理]-[支払明細書再発行]メニュー

- **支払手形、ファクタリング債務、期日現金[債務]、電子記録債務から作成するてん末処理仕訳の債務明細を修正できるようになりました。**

てん末処理仕訳の債務明細が修正できるようになり、債務明細を分割したり、科目を変更することができるようになりました。

例えば、複数の異なる部門の債務に対して、1枚の支払手形でまとめて支払った場合に、債務明細をそれぞれの部門ごとに分割して、てん末処理仕訳を作成できます。

以下の場合に債務明細を修正できます。

<支払手形、ファクタリング債務、期日現金[債務]>

- ・ てん末が「振出」「返却」の場合

<電子記録債務>

- ・ てん末が「発生」「取消」の場合

◀ 関連メニュー ▶

- ・ [債務管理]-[支払手形処理]-[支払手形入力]メニュー
- ・ [債務管理]-[支払手形処理]-[支払手形一括振出]メニュー
- ・ [債務管理]-[ファクタリング処理]-[ファクタリング債務入力]メニュー
- ・ [債務管理]-[ファクタリング処理]-[ファクタリング債務一括振出]メニュー
- ・ [債務管理]-([電子記録債務処理]-) [電子記録債務入力]メニュー
- ・ [債務管理]-([電子記録債務処理]-) [電子記録債務一括発生]メニュー

- **【支払通知書】メニューで、支払金額と振込手数料、郵送料を分けて出力できるようになりました。**

[債務管理]-[管理帳票]-[支払通知書]メニューで、支払金額と振込手数料、郵送料を分けて支払通知書を印刷できるようになりました。

[支払通知書 - 印刷条件設定]画面の[出力設定2]ページで「振込手数料を分けて出力する」「郵送料を分けて出力する」にチェックを付けます。

これにより、[出力設定2]ページが追加され、[出力設定]ページから【支払方法情報出力】、【支払方法情報出力】、【明細出力】の設定を移動しました。

随時処理

- **【科目別マスター入力設定】メニューで設定した内容を、汎用データを受け入れるときに反映させるか設定できるようになりました。**

マスターの未入力を防ぐためにメインメニューの[仕訳処理]-[仕訳入力補助]-[科目別マスター入力設定]メニューで設定した内容を、債務残高や債務伝票、即時支払伝票の汎用データを受け入れるときにも反映させるか設定できるようになりました。

[導入処理]-[運用設定]-[債権債務運用設定]メニューの[債務基本設定]ページで、マスターの未入力チェックを「1: 汎用データ受入も含む」に設定します。

◀ 関連メニュー ▶

- ・ [随時処理]-[汎用データ受入]-[マスターデータ受入]-[残高データ受入]-[債務残高データ受入]メニュー
- ・ [随時処理]-[汎用データ受入]-[債務データ受入]-[債務伝票データ受入]メニュー
- ・ [随時処理]-[汎用データ受入]-[債務データ受入]-[即時支払伝票データ受入]メニュー
- ・ [自動実行管理]-[汎用データ受入]-[自動実行債務伝票データ受入]メニュー（『自動実行管理オプション』をお使いの場合）
- ・ [自動実行管理]-[汎用データ受入]-[自動実行即時支払伝票データ受入]メニュー（『自動実行管理オプション』をお使いの場合）

財務会計システム

勘定奉行V ERP10

機能アップガイド

債務管理 Pro / 債務管理オプション

< Ver.3.07 >

変更内容一覧

【債務管理】

処理の取り消し時に、支払手形、ファクタリング債務、電子記録債務の各処理で作成済みの仕訳を参照できるようになりました。

それに伴い、[支払伝票]（[F8] キー）が追加されました。

【操作方法】

[基本条件] ページの処理選択で取消を選択し、[画面] ボタンをクリックします。

[支払伝票]（[F8] キー）を押して仕訳を参照します。

【関連メニュー】

- ・ [債務管理]-[支払手形処理]-[支払手形一括振出]メニュー
- ・ [債務管理]-[支払手形処理]-[支払手形一括決済]メニュー
- ・ [債務管理]-[ファクタリング処理]-[ファクタリング債務一括振出]メニュー
- ・ [債務管理]-[ファクタリング処理]-[ファクタリング債務一括決済]メニュー
- ・ [債務管理]-（[電子記録債務処理]-）[電子記録債務一括発生]メニュー
- ・ [債務管理]-（[電子記録債務処理]-）[電子記録債務一括決済]メニュー

支払手形、ファクタリング債務、電子記録債務の各処理で作成済みの仕訳を、リスト形式で印刷できるようになりました。

【操作方法】

各メニューの[支払伝票]（[F8] キー）を押すと開く[支払伝票]画面で、[印刷]（[F2] キー）を押します。

[印刷条件設定]画面が開きますので、印刷条件を設定して[印刷] ボタンをクリックします。

【関連メニュー】

- ・ [債務管理]-[支払手形処理]-[支払手形入力]メニュー
- ・ [債務管理]-[支払手形処理]-[支払手形一括振出]メニュー
- ・ [債務管理]-[支払手形処理]-[支払手形一括決済]メニュー
- ・ [債務管理]-[ファクタリング処理]-[ファクタリング債務入力]メニュー
- ・ [債務管理]-[ファクタリング処理]-[ファクタリング債務一括振出]メニュー
- ・ [債務管理]-[ファクタリング処理]-[ファクタリング債務一括決済]メニュー
- ・ [債務管理]-（[電子記録債務処理]-）[電子記録債務入力]メニュー
- ・ [債務管理]-（[電子記録債務処理]-）[電子記録債務一括発生]メニュー
- ・ [債務管理]-（[電子記録債務処理]-）[電子記録債務一括決済]メニュー

《銀行振込FBデータ作成》

[基本設定] ページで、集計するFBデータの範囲に、支払先を指定できるようになりました。

財務会計システム

勘定奉行V ERP10

機能アップガイド

債務管理 Pro / 債務管理オプション

< Ver.3.04 >

【全般】
<p>消込調整額を6つまで使用できるようになりました。</p> <p>※詳細は、操作説明の「消費税差金・消込調整額」をご参照ください。</p> <p>『蔵奉行』と連動できるようになり、以下のメニューが追加されました。</p> <p>『蔵奉行』で作成した仕入伝票データを当システムの債務伝票として受け入れたり、当システムの支払伝票をもとに『蔵奉行』の支払伝票データを作成できるようになります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・[随時処理]-[商蔵奉行連動]-[債権債務管理]-[連動初期設定]メニュー ・[随時処理]-[商蔵奉行連動]-[債権債務管理]-[仕入伝票データ受入]メニュー ・[随時処理]-[商蔵奉行連動]-[債権債務管理]-[支払伝票データ作成]メニュー <p>＜『債務管理Proオプション』をお使いの場合＞</p>
<p>[導入処理]-[運用設定]-[債権債務運用設定]メニューの[請求支払設定]ページの支払予定確定基準が「0：支払明細書単位」の設定で分割支払する場合に、分割した支払予定金額の端数処理ができるようになりました。</p> <p>【設定箇所】</p> <p>[導入処理]-[取引先登録]-[取引先登録]メニューの[支払先支払]ページの「端数処理」「端数処理額」</p> <p>【関連メニュー】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・[導入処理]-[取引先登録]-[取引先登録]メニュー ・[導入処理]-[取引先登録]-[取引先一括登録]メニュー ・[随時処理]-[汎用データ作成]-[マスターデータ作成]-[取引先データ作成]-[取引先データ作成]メニュー ・[随時処理]-[汎用データ受入]-[マスターデータ受入]-[取引先データ受入]-[取引先データ受入]メニュー ・[自動実行管理]-[汎用データ作成]-[自動実行取引先データ作成]メニュー（『自動実行管理オプション』をお使いの場合） ・[自動実行管理]-[汎用データ受入]-[自動実行取引先データ受入（債権債務）]メニュー（『自動実行管理オプション』をお使いの場合） <p>＜『債務管理Proオプション』をお使いの場合＞</p>
<p>合計を表示するかを設定できるようになりました。</p> <p>【設定箇所】</p> <p>[条件設定]画面の[表示設定]ページの「合計表示」</p> <p>【関連メニュー】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・[債務管理]-[購入債務処理]-[債務伝票承認]メニュー <p>※この機能追加に伴い、[表示設定]ページが追加されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・[債務管理]-[支払処理]-[締単位支払消込]メニュー ・[債務管理]-[支払処理]-[一括支払消込]メニュー ・[債務管理]-[支払処理]-[個別支払消込]メニュー ・[債務管理]-[支払処理]-[支払伝票承認]メニュー
【導入処理】
《債務区分登録》
<p>[請求支払設定]ページの参照明細区分に「1：返品」が追加されました。</p>

<p>【関連メニュー】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [随時処理]-[汎用データ作成]-[マスターデータ作成]-[取引区分データ作成]-[債務区分データ作成]メニュー ・ [随時処理]-[汎用データ受入]-[マスターデータ受入]-[取引区分データ受入]-[債務区分データ受入]メニュー
<p>《商品登録》</p>
<p>[基本]ページの明細区分が「0：一般商品」の場合に、返品用の債務区分が設定できるようになりました。</p> <p>【設定箇所】</p> <p>[属性]ページの「債務区分-返品」</p> <p>【関連メニュー】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [随時処理]-[汎用データ作成]-[マスターデータ作成]-[商品データ作成]-[商品データ作成]メニュー ・ [随時処理]-[汎用データ作成]-[マスターデータ作成]-[商品データ受入]-[商品データ受入]メニュー
<p>[属性]ページには、債務区分の借方－購入科目の税区分、税込区分が表示されていましたが、表示されなくなりました。</p>
<p>[単位]ページが追加され、[属性]ページの以下の項目が[単位]ページに移動しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 単位 ・ 単価小数 ・ 数量小数
<p>【債務管理】</p>
<p>《債務伝票入力》</p>
<p>[導入処理]-[商品登録]-[商品登録]メニューの[基本]ページの商品の明細区分が「0：一般商品」の場合に、[導入処理]-[取引区分登録]-[債務区分登録]メニューの[請求支払設定]ページの参照明細区分が「1：返品」の債務区分を入力できるようになりました。</p> <p>【関連メニュー】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [随時処理]-[汎用データ作成]-[債務データ作成]-[債務伝票データ作成]メニュー ・ [随時処理]-[汎用データ受入]-[債務データ受入]-[債務伝票データ受入]メニュー ・ [自動実行管理]-[汎用データ作成]-[自動実行債務伝票データ作成]メニュー（『自動実行管理オプション』をお使いの場合） ・ [自動実行管理]-[汎用データ受入]-[自動実行債務伝票データ受入]メニュー（『自動実行管理オプション』をお使いの場合）
<p>《マイナス債権振替》</p>
<p>[導入処理]-[商品登録]-[商品登録]メニューの[基本]ページの商品の明細区分が「0：一般商品」の場合に、[導入処理]-[取引区分登録]-[債務区分登録]メニューの[請求支払設定]ページの参照明細区分が「1：返品」の債務区分を入力できるようになりました。</p>
<p>《債務伝票承認》</p>
<p>債務伝票を承認する際に、部門ごとに集約して仕訳伝票を作成できるようになりました。</p> <p>【設定箇所】</p> <p>[債権債務機能設定]メニューの[債務管理]-[仕訳伝票作成設定]ページの「部門別の集約」</p>
<p>《債務データ抽出》</p>
<p>メインメニューの[導入処理]-[運用設定]-[会社運用設定]メニューの[伝票設定]ページの「摘要の貸借別の入力」が「1：する」の場合に、作成する債務伝票の摘要に仕訳明細の債務</p>

<p>科目の摘要をセットできるようになりました。</p> <p>【設定箇所】</p> <p>[債務データ抽出 - 条件設定]画面の[表示方法]ページの「債務科目の摘要を表示する」 <『伝票項目拡張オプション』をお使いの場合></p>
<p>《支払予定変更》</p>
<p>[条件設定画面の変更]</p>
<p>[基本設定]ページで、支払先の範囲指定や個別指定ができるようになりました。</p>
<p>支払予定の並び順が詳細に設定できるようになりました。</p> <p>※この機能追加に伴い、[出力順]ページが追加され、[出力設定]ページの「並び順」は[出力順]ページで設定するようになりました。</p>
<p>[導入処理]-[運用設定]-[債権債務運用設定]メニューの[請求支払設定]ページの支払予定確定基準が「0：支払明細書単位」の場合にも、[出力設定]ページが追加されました。</p>
<p>[出力設定]ページで、表示する支払先名を「支払先名1」「支払先名2」「支払先名1・2」「支払先略称」から選択できるようになりました。</p>
<p>[出力設定]ページの出力項目に、「支払先」が必須項目として追加されました。</p> <p>※この機能追加に伴い、画面の見出し部分に支払先コードや支払先略称が表示されなくなりました。</p>
<p>[メイン画面の変更]</p>
<p>[導入処理]-[運用設定]-[債権債務運用設定]メニューの[請求支払設定]ページの支払予定確定基準が「0：支払明細書単位」の場合に、画面に「対象」列が追加されました。</p>
<p>[支払予定変更 - 一括変更]画面が変更になり、支払予定を一括変更する際の操作方法が変更されました。</p> <p>※詳細は、操作説明の「複数の支払予定日・支払方法を一括で変更する」をご参照ください。</p>
<p>Windowsファンクション</p> <p>[導入処理]-[運用設定]-[債権債務運用設定]メニューの[請求支払設定]ページの支払予定確定基準が「0：支払明細書単位」の場合に、以下のキーが追加されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [一括変更] ([F 3] キー) ・ [全選択] ([F 5] キー) ・ [全解除] ([F 6] キー)
<p>支払予定を選択する際に、以下のようなキーボード操作ができるようになりました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [Shift]キーまたは[Ctrl]キーを押しながら行を選択する ⇒複数の支払予定を一度に選択 ・ [Ctrl]キーと[A]キーを同時に押す ⇒すべての支払予定を選択 ・ 選択した状態で[Space]キーを押す ⇒選択中の支払予定すべてにチェックを付ける
<p>《前払金情報登録》</p>
<p>[印刷の変更]</p>
<p>複数ページの印刷順序の設定が追加されました。</p> <p>【設定箇所】</p> <p>[前払金情報登録 - 印刷等条件設定]画面の[基本設定]ページの「複数ページの印刷順序」</p>
<p>[項目選択]ページで設定した項目を印刷できるようになりました。</p> <p>今までの固定のレイアウトで印刷する場合には、[前払金情報登録 - 印刷等条件設定]画面の</p>

[基本設定]ページの「固定レイアウトで印刷する」にチェックを付けます。
《前払金消込》
[印刷の変更]
[項目選択]ページで第一項目に金額を選択した場合に、いままでは小計・合計行の項目名が非表示になっていましたが、これからは全体の列を自動的に右にずらし、最左列に小計・合計の項目名が出力されるようになりました。
《支払先元帳》
計行の段数が1段になりました。 また、計行を薄紫色で表示して、計行ごとに太線を表示するように変更されました。
Office連携サービスの以下の機能に対応しました。 ○PDF出力機能 元帳の印刷物を、PDFファイルとして出力できます。 ※詳細は、操作説明の「集計結果をPDFに出力する」をご参照ください。 ○ダイレクト出力機能（クイックメニュー） 画面表示した元帳を、クイックメニューからワンタッチでダイレクト印刷できます。 ※詳細は、操作説明の「クイック機能から出力する」をご参照ください。 <div style="text-align: right;"><「OMSS」></div>
債務明細に商品を表示できるようになりました。印刷・転送でも商品を出力できるようになります。 【設定箇所】 [支払先元帳 - 条件設定]画面の[表示設定]ページの「商品表示」「商品コード表示」 <div style="text-align: right;"><『債務管理Proオプション』をお使いの場合></div>
[印刷の変更]
計行の段数が1段になりました。
《債務伝票履歴》
[印刷の変更]
形式選択に「債務伝票履歴リスト(選択形式)」が追加され、[項目選択]ページで選択した債務伝票の項目を印刷できるようになりました。 【設定箇所】 [債務伝票履歴 - 印刷等条件設定]画面の[基本条件]ページの「形式選択」
【その他】
「OBCプログラムアップデート」機能を改善しました。 最新プログラムを今すぐではなく後からセットアップする場合は、製品起動時の「最新プログラムのお知らせ」の通知を表示させないように設定できます。 ただし、後からセットアップする場合は、手動でセットアップします。 ※製品ごとに設定できます。 ※設定後、さらに新しいプログラムが公開された際は、通知が表示されます。 <div style="text-align: right;"><『ネットワーク対応製品』以外をお使いの場合></div>
『奉行V ERP8/V ERP』の『債務管理Proオプション』または『債務管理オプション』からデータコンバートできるようになります。

財務会計システム

勘定奉行V ERP10

機能アップガイド

債務管理 Pro / 債務管理オプション

< Ver.3.00 >

参 考

『奉行V ERP8』（Ver. 2.50）からの機能アップ内容や変更内容が記載されています。


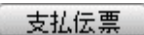
機能アップ内容
【全般】
複数の伝票を集約して仕訳伝票を作成する機能が強化されました。
明細を合算して仕訳伝票を作成できるようになりました。
作成する仕訳伝票上の部門や取引先などのマスターをクリアできるようになりました。
『法定調書奉行』と連動できるようになりました。
全角／半角、大文字／小文字、ひらがな／カタカナを区別せずにあいまい検索ができるようになり、ヒット率が向上しました。
いままでは、未承認リスト、または承認済リストのレイアウトは固定でしたが、出力する項目を指定できるようになりました。 これにより必要な項目だけをチェックできるようになりました。
【設定箇所】 <ul style="list-style-type: none"> ・ [債務伝票承認 - 条件設定]画面の[項目選択]ページ ・ [支払伝票承認 - 条件設定]画面の[項目選択]ページ 【関連メニュー】 <ul style="list-style-type: none"> ・ [債務管理]-[購入債務処理]-[債務伝票承認]メニュー ・ [債務管理]-[支払処理]-[支払伝票承認]メニュー
マイナス債務振替、マイナス債権振替で作成した債権伝票、債務伝票を承認するかを選択できるようになりました。 いままでは、マイナス債務の振替、マイナス債権の振替をすると、「最終承認」が付与された状態で債権伝票、債務伝票が作成され、仕訳伝票も同時に作成されていました。 これからは、振替後に債権伝票、債務伝票を承認してから仕訳伝票を作成するかを選択できるようになりました。
【関連メニュー】 ○マイナス債務振替 <ul style="list-style-type: none"> ・ [導入処理]-[運用設定]-[債権債務運用設定]メニューの[債権基本設定]ページ 「マイナス債務振替」 ・ [債権管理]-[売上債権処理]-[債権伝票承認]メニューで承認 ○マイナス債権振替 <ul style="list-style-type: none"> ・ [導入処理]-[運用設定]-[債権債務運用設定]メニューの[債務基本設定]ページ 「マイナス債権振替」 ・ [債務管理]-[購入債務処理]-[債務伝票承認]メニューで承認 <p style="text-align: center;">＜『債権管理Proオプション』『債権管理オプション』を合わせてお使いの場合＞</p>

<p>いままでは、【決済】のてん末処理仕訳（[導入処理]-[会計期間設定]-[手形機能設定]メニューの[ファクタリング債務]-[期日現金仕訳設定]ページで設定）が「1：作成する」の場合に期日現金[債務]を決済すると、「最終承認」が付与された状態で支払伝票が作成され、仕訳伝票も同時に作成されていました。</p> <p>これからは、期日現金[債務]を支払処理（債務管理]-[支払処理]-[前払金情報登録]メニュー、支払消込、[債務管理]-[支払処理]-[即時支払伝票入力]メニュー）で作成した場合で、かつ【決済】のてん末処理仕訳が「1：作成する」の場合は、期日現金[債務]の決済後に[支払伝票承認]メニューで支払伝票を承認してから、仕訳伝票を作成できるようになりました。</p> <p>※詳細は、操作説明の「期日現金[債務]処理の流れ」をご参照ください。</p> <p>【関連メニュー】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [債務管理]-[ファクタリング処理]-[ファクタリング債務入力]メニュー ・ [債務管理]-[ファクタリング処理]-[ファクタリング債務一括決済]メニュー
<p>【導入処理】</p>
<p>《債権債務運用設定》</p> <p>初期表示伝票区分（[導入処理]-[運用設定]-[債権債務運用設定]メニューの[債務基本設定]ページで設定）を、債務伝票と支払伝票ごとに設定できるようになりました。</p> <p>これにより用途ごとに、より細かく伝票区分を設定できるようになります。</p>
<p>【債務管理】</p>
<p>《支払明細書発行》</p> <p>消費税伝票を源泉対象として作成できるようになりました。</p> <p>※消費税伝票を源泉対象として作成する場合は、債務明細すべてが源泉対象である必要があります。</p>
<p>《支払伝票承認》</p> <p>いままでは、F B明細や手数料の合算をする際は、支払方法別に合算されていました。</p> <p>これからは、支払方法別ではなく、支払方法で設定している会社銀行別で合算されるようになりました。</p> <p>これにより、[債務管理]-[支払処理]-[支払伝票承認]メニューで承認できる期日現金[債務]の決済時の支払伝票についても、F B明細や手数料の合算ができるようになりました。</p>
<p>《支払先元帳》</p> <p>以下の項目を出力するかを選択できるようになりました。</p> <p>「部門」「部門コード」「勘定／補助科目」「勘定／補助科目コード」</p> <p>※「勘定／補助科目コード」を個別に出力するか選択できるようになったため、[表示設定]ページの「債務区分／支払方法／科目コード表示」の項目名が、「債務区分／支払方法コード表示」に変更されました。</p> <p>【設定箇所】</p> <p>[支払先元帳 - 条件設定]画面の[表示設定]ページ 「部門表示」「部門コード表示」「勘定／補助科目表示」「勘定／補助科目コード表示」</p>
<p>いままでは、摘要を出力しない場合でも摘要欄は出力されていましたが、摘要欄自体も出力しないようにできるようになりました。</p> <p>【設定箇所】</p> <p>[支払先元帳 - 条件設定]画面の[表示設定]ページ 「摘要表示」</p>
<p>支払伝票を確認する場合は、支払伝票リストのレイアウトで確認できるようになりました。</p> <p>これにより、250明細を超えて複数の仕訳伝票が作成された場合でも内容を確認できるようになりました。</p>

【随時処理】
Ver. 3.00では、『奉行V ERP8』で搭載されていた『蔵奉行』との連動機能は搭載されていません。 『蔵奉行』との連動機能は、Ver. 3.04で以下のように機能アップして搭載されています。
《仕入伝票データ受入》
仕入区分が「1：返品」の仕入伝票を受け入れた場合に、商品の債務区分-返品コード（[導入処理]-[商品登録]-[商品登録]メニューの[属性]ページで設定）に設定されている勘定科目で受け入れられるようになりました。一般商品と返品で勘定科目を分けたい場合などに設定します。
仕入伝票の支払先を、債務伝票の支払先として受け入れるかどうかを選択できるようになりました。
【設定箇所】 [仕入伝票データ受入 - 受入条件設定]画面の[基本設定]ページ 「仕入伝票の支払先を債務伝票の支払先にする」
仕入伝票の支払先と同じコードの取引先の主担当者を、債務伝票の担当者として受け入れるかどうかを選択できるようになりました。
【設定箇所】 [仕入伝票データ受入 - 受入条件設定]画面の[基本設定]ページ 「支払先の主担当者を設定する」
《支払伝票データ作成》
支払伝票を支払先ごとに集約して支払伝票データを作成するかどうか選択できるようになりました。
【設定箇所】 [支払伝票データ作成 - 出力条件設定]画面の[基本設定]ページ 「支払伝票を集約する」

その他の操作や画面について、変更されているメニューがあります。
以下の内容をご確認ください。

変更内容
【全般】
メニューの名称および構成が変更されました。
【債務管理】
《債務データ抽出》
[債務データ抽出]画面の表示形式は、今まで「固定形式」と「選択形式」から選択できましたが、これからは「選択形式」だけに統一されました。 これに伴い、債務データ抽出の表示形式（[導入処理]-[運用設定]-[債権債務運用設定]メニューの[債務基本設定]ページで設定）の設定が廃止されました。
《銀行振込FBデータ作成》
支払伝票の承認時に、支払方法別ではなく支払方法で設定している会社銀行別で、FB明細や手数料が合算されるようになりました。 これに伴い[基本設定]ページの集計範囲から、支払方法の項目が廃止されました。
《支払先元帳》
取引内容の表示内容が変更されました。詳細は、操作説明の「出力内容」をご参照ください。 これに伴い、[表示設定]ページの表示項目、事由表示の項目が廃止されました。

<p>いままでは、1取引における明細が複数存在する場合は、諸口としてまとめていましたが、これからはまとめずに明細ごとに出力するようになりました。</p> <p>これに伴い、[表示設定]ページの支払諸口の内訳表示、債務諸口の内訳表示の項目が廃止されました。</p>
<p>支払先基準（[支払先元帳 - 条件設定]画面の[基本条件]ページで設定）で出力する場合は、支払明細ごとに出力して、手数料や郵送料などの付属明細はそれぞれの明細の下段に出力するようになりました。</p>
<p>金額が発生していない場合は、0円ではなく空欄で出力するようになりました。</p>
<p>【転送の変更】</p>
<p>合計行と区別できるように、明細の出力開始位置が右に1列移動しました。</p>
<p>いままでは、「支払」の項目に消込状態と支払金額を出力していましたが、これからは、それぞれの列に出力するように変更されました。</p>
<p>《支払伝票履歴》</p>
<p>項目名が変更されました。</p> <p>債務伝票の「支払済金額」→「消込金額」</p> <p>※これに伴い、「支払済金額」の項目には、債務金額に対する消込金額の合計が集計されるように変更されました。</p>
<p>【随時処理】</p>
<p>Ver. 3.00では、『奉行V ERP8』で搭載されていた『蔵奉行』との連動機能は搭載されていません。</p> <p>『蔵奉行』との連動機能は、Ver. 3.04で以下のように変更されて、搭載されています。</p>
<p>《支払伝票データ作成》</p>
<p>消費税差金・消込調整額、源泉金額を1つの明細にまとめて、支払区分「9：その他」として支払伝票データを作成するように変更されました。</p>
<p>いままでは、先方負担の振込手数料を差し引いた支払金額で支払伝票データを作成していました。</p> <p>これからは、先方負担の場合は、支払金額と振込手数料を分けて1明細（金額欄の下段に支払金額、上段に振込手数料）で作成できるようになりました。</p>
<p>[支払伝票データ作成 - 条件設定]画面の[基本設定]ページの画面レイアウトが変更されました。</p>
<p>【その他】</p>
<p>各メニューで伝票日付や集計期間を指定する際の指定方法が変更されました。</p>
<p>[債務管理]-[支払処理]-[支払伝票承認]メニューや[債務管理]-[管理帳票]-[支払先元帳]メニューなど、[債務管理]メニューの各メニューで、ジャンプして伝票を確認する際に、支払伝票承認時などに作成した仕訳伝票ではなく、支払伝票の内容を確認するように変更されました。</p> <p>これに伴い、支払伝票にジャンプするファンクションキーも  から  に変更されました。</p> <p>※承認時に作成した仕訳伝票の内容を確認する場合は、勘定奉行のメインメニューの[仕訳処理]-[仕訳伝票リスト]メニューなどでご確認ください。</p>

- 複数の伝票を集約して仕訳伝票を作成する機能が強化されました。

○複数の支払伝票を集約して仕訳伝票を作成できるようになりました。

日付単位／期間単位で複数の支払伝票を集約できます。

また、取引先／伝票区分ごとに仕訳伝票を作成することもできるようになりました。

※債務伝票でも伝票区分ごとに仕訳伝票を作成できるようになりました。

Ver. 3. 04から、部門ごとに仕訳伝票を作成できるようになります。

○[債権債務機能設定]メニューに[仕訳伝票作成設定]ページが追加され、作成する仕訳伝票の設定がまとまりました。

債務伝票を集約して仕訳伝票を作成する場合は、[導入処理]-[運用設定]-[債権債務運用設定]メニューの[債務基本設定]ページから[導入処理]-[会計期間設定]-[債権債務機能設定]メニューの[仕訳伝票作成設定]ページで設定するように変更されました。

○複数の伝票を集約して作成した仕訳伝票を削除できるようになりました。

いままでは、複数の伝票を集約して作成した仕訳伝票を取り消す場合は、「反対仕訳」で取り消すことしかできませんでした。

これからは、仕訳伝票の取消方法で「伝票削除」を選択して、仕訳伝票を削除して取り消せるようになりました。

《 関連メニュー 》

- ・ [債務管理]-[購入債務処理]-[債務伝票承認]メニュー
- ・ [債務管理]-[支払処理]-[支払伝票承認]メニュー

○複数の伝票を集約して作成した仕訳伝票の一部だけを取り消せるようになりました。

仕訳伝票の取消方法に「取消仕訳」の選択肢が追加され、一部の取引だけを取り消せるようになりました。

【設定箇所】

[導入処理]-[運用設定]-[債権債務運用設定]メニューの[債務基本設定]ページ 「集約伝票の一部取消」

《 関連メニュー 》

- ・ [債務管理]-[購入債務処理]-[債務伝票承認]メニュー
- ・ [債務管理]-[支払処理]-[支払伝票承認]メニュー

● **明細を合算して仕訳伝票を作成できるようになりました。**

同じ支払先や部門の明細を合算して仕訳伝票を作成できるようになりました。同じ支払先や部門の取引が多い場合に、この機能を利用すると仕訳伝票の明細をまとめることができるため、仕訳伝票や元帳（メインメニューの[会計帳票]-[元帳]-[元帳]メニュー）を印刷する際に印刷枚数を節約できるようになります。

【設定箇所】

[導入処理]-[会計期間設定]-[債権債務機能設定]メニューの[債務管理]-[仕訳伝票作成設定]ページ 「明細合算」

◀ 関連メニュー ▶

- ・ [債務管理]-[購入債務処理]-[債務伝票承認]メニュー
- ・ [債務管理]-[支払処理]-[支払伝票承認]メニュー

● **作成する仕訳伝票上の部門や取引先などのマスターをクリアできるようになりました。**

いままでは、債務伝票や支払伝票と同じ部門や取引先で仕訳伝票が作成されましたが、部門や取引先などのマスターをクリアして仕訳伝票を作成できるようになりました。勘定奉行でマスターごとに管理しない勘定科目がある場合などに使用します。
※仕訳伝票では「0：その他」のマスターが設定されます。

【設定箇所】

[導入処理]-[会計期間設定]-[債権債務機能設定]メニューの[債務管理]-[仕訳伝票作成設定2]ページ

◀ 関連メニュー ▶

- ・ [債務管理]-[購入債務処理]-[債務伝票承認]メニュー
- ・ [債務管理]-[支払処理]-[支払伝票承認]メニュー

● **『法定調書奉行』と連動できるようになりました。**

これにともない、以下の機能が追加されます。

○ **[報酬等明細データ作成]メニューが追加されました。**

当システムで登録された報酬などに関わる源泉明細から、弊社の『法定調書奉行』で受け入れできるデータを作成します。

○[区分登録[報酬等]]メニューが追加されました。

報酬などを支払う際に、内訳となる区分を登録できるようになりました。

[債務管理]-[購入債務処理]-[債務伝票入力]メニューなどで源泉明細を計上する際に報酬区分を指定して、源泉金額を自動計算できます。

《 関連メニュー 》

- ・ [随時処理]-[汎用データ作成]-[債務データ作成]-[債務伝票データ作成]メニュー
- ・ [債務管理]-[購入債務処理]-[債務伝票入力]メニュー
- ・ [債務管理]-[購入債務処理]-[債務伝票承認]メニュー
- ・ [債務管理]-[購入債務処理]-[債務データ抽出]メニュー
- ・ [債務管理]-[支払処理]-[一括支払消込]メニュー
- ・ [債務管理]-[支払処理]-[個別支払消込]メニュー
- ・ [債務管理]-[支払処理]-[支払伝票承認]メニュー
- ・ [債務管理]-[管理帳票]-[支払予定表]メニュー
- ・ [債務管理]-[履歴管理]-[債務伝票履歴]メニュー
- ・ [債務管理]-[履歴管理]-[支払伝票履歴]メニュー
- ・ [随時処理]-[汎用データ作成]-[債務データ作成]-[債務伝票データ作成]メニュー
- ・ [随時処理]-[汎用データ受入]-[債務データ受入]-[債務伝票データ受入]メニュー
- ・ [自動実行管理]-[汎用データ作成]-[自動実行債務伝票データ作成]メニュー（『自動実行管理オプション』をお使いの場合）
- ・ [自動実行管理]-[汎用データ受入]-[自動実行債務伝票データ受入]メニュー（『自動実行管理オプション』をお使いの場合）

○[取引先登録]メニューに以下の項目が追加されました。

- ・ 「報酬区分」
[債務管理]-[購入債務処理]-[債務伝票入力]メニューなどで初期値として表示する報酬区分を指定します。

- ・ 「受給者番号」
取引先と関連付ける『法定調書奉行』の受給者番号を入力します。

※この機能追加に伴い、[支払先源泉]ページが追加され、源泉計算に関する設定がまとまりました。

[支払先支払]ページの「源泉区分」も[支払先源泉]ページに移動しました。

また、[導入処理]-[会計期間設定]-[債権債務機能設定]メニューでは受給者番号の桁数を設定できるようになりました。

○[支払予定表]メニューで、報酬区分を指定して、源泉予定金額を計算できるようになりました。

【設定箇所】

[支払予定表 - 条件設定]画面の[項目選択]ページ

※この機能は、源泉計算（[導入処理]-[会計期間設定]-[債権債務機能設定]メニューの[伝票設定]ページで設定）が「1：計算する」で、計算方法（[導入処理]-[会計期間設定]-[債権債務機能設定]メニューの[伝票設定]ページで設定）が「0：支払時に計算」の場合に有効な機能です。

- 全角／半角、大文字／小文字、ひらがな／カタカナを区別せずにあいまい検索ができるようになり、ヒット率が向上しました。

支払先・商品を検索する場合に、全角／半角、大文字／小文字、ひらがな／カタカナを区別せずにあいまい検索ができるようになりました。

以下のような検索ができます。

▼例

- 「ABC商事株式会社」を「ABC商事」で検索できます。
(全角／半角を区別しません。)
- 「T-Shop株式会社」を「T-SHOP」で検索できます。
(アルファベットの大文字／小文字を区別しません。)
- 「千葉デンキ有限会社」を「千葉でんき」で検索できます。
(ひらがな／カタカナを区別しません。)

変更内容の詳細

- メニューの名称および構成が変更されました。

注 意

機能アップによって新しく追加されたメニューが画面に表示されない場合は、メインメニューの[セキュリティ管理]-[権限管理]-[メニュー権限登録]メニューで利用者ごとにメニュー権限を設定してください。

○[報酬等明細データ作成]メニューの追加

[随時処理]-[法定調書奉行連動]-[報酬等明細データ作成]メニューが追加されました。

○以下のメニューの名称と構成を変更

変更前	変更後
[債権業務処理]-[相殺処理] -[債権振替相殺処理]メニュー	[債務管理]-[購入債務処理] -[マイナス債権振替]メニュー
[債権業務処理]-[相殺処理] -[債務振替相殺処理]メニュー	[債権管理]-[売上債権処理] -[マイナス債務振替]メニュー

○[承認権限登録]メニューの廃止

※今回のバージョンから[メニュー権限登録]メニューで承認権限を設定できるようになったため、[承認権限登録]メニューは廃止されました。

- 各メニューで伝票日付や集計期間を指定する際の指定方法が変更されました。

『奉行V ERP8』

☒ 伝票日付を指定する

月範囲(I)... 期首振戻 ~ 期末整理 31日

↓

『奉行V ERP10』

☒ 伝票日付 2016年 4月 1日 振戻 ~ 2017年 3月31日 整理